



(公社)土木学会 100周年記念事業
2011年東北地方太平洋沖地震
- 被害に学ぶ, 課題と対策 -

主催：東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会(公益社団法人土木学会東北支部，公益社団法人地盤工学会東北支部，公益社団法人日本地すべり学会東北支部，一般社団法人東北地域づくり協会，公益社団法人日本コンクリート工学会東北支部，一般社団法人日本建築学会東北支部，公益社団法人日本都市計画学会東北支部)

共催：日本大学工学部・私立大学戦略的研究基盤形成事業「福島県発の災害に強く自立共生が可能な住環境の創成に関する研究」グループ

趣旨：2011年東北地方太平洋沖地震により東北地方の太平洋沿岸地域をはじめ広い地域で地震動や津波による社会基盤施設などの被害が生じました。土木学会東北支部をはじめ、東北地域に支部を有する7学協会により東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会を設置し、被害に調査を実施し、2013年度に報告書を発行致しました。本報告会では、被害報告書に取りまとめた被害データより何を学んだか、つまり被害の分析より社会の安全に及ぼす課題を抽出し、その対策として必要な技術などについて報告します。

日時：平成26年12月12日(金) 14:40-17:35

場所：日本大学工学部 ハットNE 3階 AV教室

スケジュール：

		司会 日本大学工学部・教授 中村 晋
14:40-14:50	挨拶	東北大学大学院・教授 真野 明
14:50-15:15	地震・地震動 - 特に、福島県の地震動の特徴と課題 -	日本大学工学部・教授 中村 晋
15:15-15:40	社会基盤施設の被害の特徴と対策	日本大学工学部・教授 岩城一郎
15:40-16:30	津波による被害、その特徴と対策	東北大学大学院・教授 真野 明
16:30-16:40	休憩	
16:40-17:30	地盤災害の特徴と対策	日本大学工学部・准教授 仙頭紀明
17:30-17:35	閉会	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業代表 中村 晋

共通事項

1. 本報告会は土木学会継続教育(CPD)プログラム認定の報告会です。認定番号はJSCE14-0661、単位数は2.7単位です。
2. 報告会用の配布資料はございません。
3. 報告会への参加は無料です。
4. 報告会への参加申し込みの期限は設定していませんが、各会場の定員に達した段階で受付を終了いたします(定員：300名)。

報告会への参加申し込みについて

- ・ 申し込み方法：氏名、住所および連絡先(電話、メールアドレス)を記入の上(自由書式)、メールまたはFAXにて下記申し込み先にご送付ください。
- ・ 申込先：日本大学工学部土木工学科 中村研究室 E-mail：s-nak@civil.ce.nihon-u.ac.jp Fax:024-956-8858